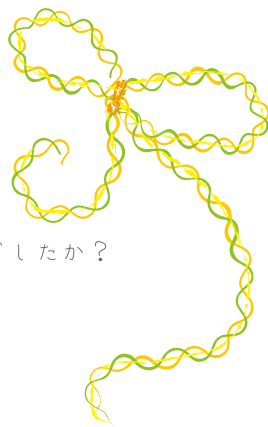


Lily-yarn : リリヤン

リリヤン (Lily-yarn) とは、人造絹糸 (レーヨン) を細く編み込んだ手芸用のひものこと。

1923年 (大正12年) に京都の糸職人がアメリカのものをまねて、人造絹糸をメリヤス編みにした糸を発明し、その糸に東京の糸問屋がユリの花の商標をつけ「リリヤーン (ユリ印の糸)」の名で売り出したのが始まり。「リリー」はユリの花、「ヤーン」は縫製糸の意味。



🧶 「リリヤン」ってなんだっけ…?

不思議な編み機「リリヤン」。

女性は「小さいころ大好きだったおもちゃNO.1」じゃありませんでしたか?

なんで糸が編まれて出てくるの!? そんな疑問や好奇心から、

「リリヤン」が手芸を始めるきっかけになった方も多いはず。

そんな懐かしの「リリヤン」をつくってみませんか?



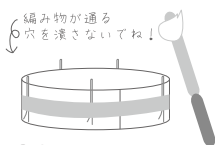
つくりかた ・用意するもの : 厚紙・紙粘土・ヘアピン (小) 5本・紙テープ・ボンド



① 長方形に切った厚紙で輪を作り、ホチキスで留める。



②①に、等間隔にヘアピンをテープでしっかり固定する。



④③にボンドで紙粘土で肉付け。(紙粘土はボンドでゆるくしよう!)



⑤ 乾燥したら、絵の具やニスでかわいく仕上げよう!

アレンジすると色んな小物が作れるよ!



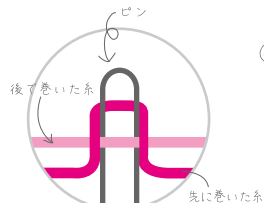
編み方



① 中央の穴に毛糸を通す。



② 星型に糸を巻き、その上から毛糸を一周させる (糸の上下に注意)



③ 先に巻いた糸を、後で巻いた糸にかぶせるようにしてピンの内側に移動させる

④ あとは③の作業を繰り返すだけ。優しく編むのが成功のコツ!

